

晩秋の佐々川流域の石橋を案内

10/31 吉井エコ「石橋案内会」

吉井エコツーリズムふるさとの会は、今年もまた「佐々川流域の石橋群フォト・絵画コンテスト」を企画。12月10日から応募受付を始める。

このコンテストのために昨年同様、「石橋案内会」を実施しました。参加者は11名(男性5名、女性6名)。

案内を末永が行いました。案内した橋は小岩橋、龍の氏橋、尾崎橋、きりのき橋

丑太郎橋、奥の口橋(以上世知原)、樋口橋、曲川橋、橋川原橋(以上吉井)の9基でした。

コンテストのための石橋案内会ということもあって、少しハードな案内をしました。途中から雨が降り出すという悪条件(特に石が滑る)の中でしたが、何とか絶景のポイントまで案内できたかと思います。滑ったり、足をねんざしたりなどといった事故を大変に心配しましたが、皆さん元気に回ってくれました。

その後、末永の元にお礼の電話やお葉書をいただきました。その中からご紹介します。

「とても有意義な一日であったと(帰りのバスの中で)話しながら石橋の余韻に浸ってました。人に歴史があるごとく、石橋それぞれの物語を知って眺めると、また違った景色に見えてきます。スタッフの皆様へ感謝です」(71歳、女性)

「このような近くにこのような素敵なたまた重要な文化遺産があるなんて思ってもみませんでした。ツアー後、今度は

徒歩で残りの石橋を回ってみました…今後も季節に応じ訪れてみたいと思います」(52歳、男性)

今回、初めて「橋川原橋」へ案内しました。昨年までは橋の両面を藤の蔓が巻いていて、輪石も壁石も見れませんでした。今年2月登山をしている松園さん他によって、見事に蔓が取り払われ、美しい石橋がよみがえりました。残念なことにこの河原へ降りるのは大変困難です。この日はロープと梯子を使いながら何とか降りていただくことができました。大きな真ん丸いアーチにとっても感動されていました。



上:橋川原橋



右:樋口橋



参加者(きりのき橋で)